

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號二第 卷二十二第

行發日一月二年五十正大

論叢

國際課税の主義論争……………法學博士 神戸 正雄

單一税の實現性……………法學士 汐見 三郎

純正現象學の方法論及び問題論……………文學博士 米田庄太郎

萬民經濟交通の發展……………法學士 作田 莊一

時論

勞働爭議調停法案に就て……………法學博士 河田 嗣郎

說苑

露國金融制度の變遷……………經濟學士 谷口 吉彦

スミスの植民地觀に關して……………法學博士 山本美越乃

再び矢内原教授に應ふ…………………………

雜錄

神社救貧制度の一例……………經濟學士 黒 正 巖

法令

營利職業紹介所事業規則…………………………

(禁轉載)

法 令

營利職業紹介事業取締規則

內務省令第三十號 (大正十四年十二月十九日)

第一條 本令ニ於テ職業紹介事業ト稱スルハ營利ヲ目的トスル職業紹介事業ヲ謂ヒ紹介業者ト稱スルハ營利ヲ目的トスル職業紹介事業ヲ營ム者ヲ謂フ

第二條 職業紹介事業ヲ營マムトスルトキハ左記事項ヲ具シ事業所所在地ノ所轄警察官署ヲ經由シ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

一 本籍、住所、氏名、年齢及履歴

二 法人ニ在リテハ其ノ定款並ニ其ノ代表者ノ本籍、住所、氏名、年齢及履歴

三 事業所ノ所在地及名稱

四 主トシテ紹介セムトスル職業ノ種類

五 手数料額及其ノ領收方法

前項第二號法人ノ定款、代表者、第三號事業所ノ所在地、第四號又ハ第五號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ事業所所在地

法 令

ノ所轄警察官署ヲ經由シ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

紹介業者(紹介業者法人ナルトキハ其ノ代表者)ノ本籍、住所、氏名又ハ事業所ノ名稱ニ變更アリタルトキハ其ノ變更後七日內ニ事業所所在地ノ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

第三條 紹介業者及其ノ同居ノ戸主家族、宿屋、料理屋、飲食店、貸座敷、待合、藝妓屋、游戯場、藝妓娼妓酌婦又ハ之ニ類スルモノノ周旋業、質屋、古物商、金貸付業其ノ他之ニ類スル營業ヲ爲シ又ハ其ノ營業者ノ從業者タルコトヲ得ス代書人規則ニ依ル代書人又ハ其ノ補助員タルコト亦同シ

前項ノ規定ハ紹介業者法人又ハ未成年者ナルトキハ法人ノ代表者又ハ未成年者ノ法定代理人ニ之ヲ準用ス但シ未成年者其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條 紹介業者從業者ヲ使用セムトスルトキハ其ノ本籍、住所、氏名、年齢及履歴ヲ具シ事業所所在地ノ所轄警察官署ノ許可ヲ受クヘシ

從業者ノ使用ヲ罷メタルトキ又ハ從業者死亡シタルトキハ紹介業者ハ其ノ氏名ヲ具シ七日內ニ事業所所在地ノ所轄警察官署ニ届出ツヘシ從業者ノ住所又ハ氏名ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二十二卷 (第二條 一六三) 三七七

前條第一項、第八條第八號乃至第十一號及其ノ規則ノ規定ハ
從業者ニ之ヲ準用ス

第五條 紹介業者ハ其ノ事業所ノ名稱ニ職業紹介所ナル文字ヲ
用フルコトヲ得ス

第六條 紹介業者ハ未成年者、禁治産者、準禁治産者又ハ妻ニ
付テハ其ノ法定代理人、後見人、保佐人又ハ夫ノ承諾アルニ
非レハ之ヲ紹介スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ因リ
承諾ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テ本人ヲ保護スル者ノ承諾
アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條 紹介業者ハ許可ヲ受ケタル手数料ノ外何等ノ名義ヲ以
テスルヲ問ハス報償トシテ財物其ノ他ノ利益ヲ受クルコトヲ
得ス

第八條 紹介業者ハ左ニ掲クル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 職業紹介事業ニ關シ誇大又ハ虚偽ノ廣告又ハ揭示ヲ爲ス
コト
- 二 紹介ニ際シ求職者ノ性行技能健康狀態、求人者ノ家庭ノ
狀況、勞務條件、報酬其ノ他契約上必要ナル事項ニ付事
實ヲ虚構シ又ハ隠蔽スルコト
- 三 求職者ノ意思ニ反シテ紹介ヲ爲スコト
- 四 濫ニ被傭中ノ者ヲ勸誘シ他ニ紹介スルコト

五 濫ニ事業所外ニ於テ被傭者タルコトヲ勸誘スルコト

六 紹介ニ係ル被傭ノ當事者間ニ於ケル財物ノ授受ニ關與ス
ルコト

七 求職者ヲ誘引スル者ニ對シ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハ
ス財物其ノ他ノ利益ヲ供與スルコト

八 藝妓娼妓酌婦又ハ之ニ類スルモノノ別旋ヲ爲スコト

九 求職者ニ對シ風俗ヲ紊ル虞アル行爲ヲ爲スコト

十 求職者ニ對シ遊興ヲ勸誘シ又ハ其ノ案内ヲ爲スコト

十一 紹介ニ關シ知得タル人ノ秘密ヲ漏泄スルコト

第九條 紹介業者ハ左ニ掲クル行爲ヲ爲スコトヲ得ス但シ事業
所在地ノ所轄警察官署ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在
ラス

一 求職者ヲ宥泊セシムルコト

二 求職者ニ對シ財物ノ給與又ハ貸付ヲ爲スコト

三 求職者ノ委託ヲ受ケ財物ノ保管、購買若ハ質入ヲ爲スコ
ト

四 求職者ノ財物ヲ買受クルコト

第十條 紹介業者ハ事業所ニ別表ノ様式ニ依ル左ノ帳簿ヲ備ヘ
日日報介ニ關スル事項ヲ記載スヘシ(別表省略)

一 求人簿

二 求職簿

三 紹介日計簿

四 手数料收受簿

前項ノ帳簿ハ最後ノ記載ヲ爲シタル日ヨリ三年間之ヲ保存ス
ヘシ

第十一條 紹介業者ハ毎月五日迄ニ前月ノ事業狀況ヲ事業所所
在地ノ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

警察官署前項ノ届出ヲ受理シタルトキハ之ヲ取纏メ地方長官
ニ報告スヘシ

地方長官前項ノ報告ヲ受理シタルトキハ之ヲ取纏メ中央職業
紹介事務局長ニ通報スヘシ

前三項ノ報告様式ハ別表定ムル所ニ依ル(別表省略)

第十二條 紹介業者ハ其ノ事業狀況ニ關シ事業所所在地ノ所轄

地方職業紹介事務局長又ハ事業所所在地ノ市町村長ヨリ要求
アルトキハ速ニ報告ヲ爲スヘシ

第十三條 紹介業者廢業シタルトキハ廢業ノ日ヨリ五日内ニ其
ノ旨事務所所在地ノ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

紹介業者死亡シタルトキハ其ノ相続人又ハ戸主ヨリ紹介業者
タル法人解散シタルトキハ清算人ヨリ其ノ旨前項ニ準シ届出
ツヘシ

第十四條 地方長官ハ警察官吏ヲシテ事業所ニ臨檢シ訊問ヲ行

ヒ書類帳簿ノ檢査ヲ爲シ若ハ其ノ提出ヲ命セシメ其ノ他監督
上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十五條 地方長官ハ紹介業者ハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命
令若ハ處分ニ違反シタルトキハ其ノ事業ヲ停止シ又ハ許可ヲ

取消スコトヲ得地方長官ニ於テ紹介業者職業紹介事業ヲ營ム
ニ適セスト認ムルトキ亦同シ

第十六條 警察官署ハ從業者職業紹介事業ニ従事スルニ適セス
ト認ムルトキハ使用ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ拘
留ニ處ス

一 第二條第一項第二項、第三條又ハ第四條第一項ノ規定ニ
違反シタル者

二 第十五條ノ規定ニ依リ事業ヲ停止セラレタル者ニシテ其
ノ停止期間中事業ヲ營ミタル者

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 第二條第三項、第四條第二項、第五條乃至第十條、第十
一條第一項、第十三條又ハ附則第四項ノ規定ニ違反シタ
ル者

二 第十條第一項ノ帳簿ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

法 令

第二十二卷 (第二號 一六六) 三八〇

附 則

三 第十四條ノ規定ニ依ル警察官吏ノ臨檢若ハ書類帳簿ノ檢査、提出ヲ拒ミ訊問ニ應セス虚偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ監督上ノ處分ニ從ハサル者

本令ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 紹介業者未成年者又ハ法人ナルトキハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人又ハ法人ノ代表者ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

本令施行前廳府縣令ニ依リ許可、免許又ハ認可ヲ受ケ現ニ職業紹介事業ヲ營ム者ハ本令第二條第一項ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

紹介業者ハ從業者、同居ノ尸主家族又ハ雇入ニシテ其ノ事業ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指押ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

前項ノ紹介業者ノ從業者ニ付テハ本令第四條第一項ニ依リ認可アリタルモノト看做ス

第二十條 本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ地方長官之ヲ定ム

第二項ノ紹介業者ニシテ引續キ職業紹介事業ヲ營マムトスルトキハ本令施行後一月内ニ第二條第一項各號ノ事項ヲ事業所所在地ノ所轄警察官署ヲ經由シ地方長官ニ、第四條第一項ノ事項ヲ事業所所在地ノ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

第二十一條 地方長官ハ本令ニ依ル權限ノ一部ヲ警察官署長ニ委任スルコトヲ得

第二十二條 本令中地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ警視總監トス

第二十三條 本令ハ藝妓酌婦又ハ之ニ類スルモノノ紹介ニ關シテハ之ヲ適用セス

第二十四條 本令ハ有料職業紹介事業ニ之ヲ準用ス